

Tiny Basic for Windows 更新記録

Ver. 1.5 から Ver.1.6 への更新記録

Ver. 1.6 から Ver.1.61 への更新記録

tbasic.org ^{*1}

Ver. 1.61 用 [2025 年 01 月版]

環境設定の方法は、「Tiny Basic for Windows 導入編」をご覧ください。

■環境設定関係

- 環境設定ファイルとして新たに tbasic.config を使うことにしました。
- これに伴い、Ver. 1.5 まで使用していた、レジストリ、tbasic.ini を廃止しました。
- 環境設定ファイル tbasic.config は tbasic.exe と同じフォルダに常に保存します。
- tbasic.config は UTF-8 で保存される xml ファイルです。
- エンコーディングの初期設定を UTF-8 としました。(Ver.1.6)
- エンコーディングの初期設定を読み込み、書き込み設定に細分しました。
初期設定は読み込み AUTO、書き込み UTF-8 としました。(Ver.1.61)

以下の関数、コマンドの使用法は、ヘルプを参照してください。

■ファイル処理関係

- ユニコードでの出力で BOM の有無を指定できるようになりました^{*2}。
- エンコーディング判定関数 GetFileEncodingName を新たにサポートしました。
- バイナリファイルの簡易読み取り、書き込み用の関数、コマンドとして、ReadAllBytes、WriteAllBytes をサポートしました。
- AppendAllText コマンドをサポートしました。(Ver. 1.61)
- GetDirectoryName 関数をサポートしました。(Ver. 1.61)

■関数

- 数値や文字列を整形する関数 Format をサポートしました。

■配列操作関係

- 文字列配列や、数値配列を昇順に整列するコマンド Sort をサポートしました。
- Sort で、大文字小文字無視版をサポートしました。(Ver. 1.61)
- 逆順への整列のための補助コマンド Reverse をサポートしました。

■グラフ操作関係

- 画像の縮小・拡大のためのコマンド ResizeImage をサポートしました。

*1 <https://tbasic.org>

*2 Ver. 1.5 までは、常に BOM 付ファイルが生成されました。

- 利用可能最大グラフ画面が 4500 × 4500 ピクセルになりました。(Ver. 1.61)

■コントロール画面関係

- CLabel で以下のプロパティの追加しました。
 - AutoSize
 - Transparent
 - WordWrap
- CTextBox で以下のプロパティの追加しました。
 - ReadOnly
 - ReadEnter

■その他

- OS 判定で Windows 11 が認識できるようになりました。